

平成26年2月17日
国土交通省東北地方整備局
南三陸国道事務所

三陸沿岸道路 ^{たかた}高田道路が
3月23日(日)に全線開通します
～ 迅速かつ安定した救急搬送で安心な生活を確保 ～

国土交通省がこれまで事業を進めてきました、三陸沿岸道路「高田道路」が平成26年3月23日(日)に全線開通します。
「高田道路」は三陸沿岸道路(復興道路)の一部を構成する延長7.5kmの自動車専用道路で、平成21年3月に通岡IC～大船渡碁石海岸ICまでの3.4kmが供用しておりますが、今回の陸前高田IC～通岡ICまでの4.1kmの供用により全線開通します。

○今回の開通による主な整備効果(別紙-1)

- 効果1: 迅速かつ安定した救急搬送で安心な生活を確保
- 効果2: 産業活性化で地域の活力を支援
- 効果3: 代替路の整備による信頼性を確保

□開通区間(別紙-2)

- ・三陸沿岸道路 高田道路

延長4.1km(陸前高田IC～通岡IC)

2車線(上下各1車線、開通区間内に追越車線(4車線)1.0kmを設置)

※今回の開通区間は、無料ですが、自動車専用道路となり、歩行者、自転車、軽車両、二輪車(125CC以下)は通行できません。

□開 通 日 平成26年3月23日(日)

□開 通 式 典 9:30～

- ・場 所 岩手県陸前高田市竹駒町地内(陸前高田IC内)
- ・主 催 岩手県、陸前高田市、大船渡市、東北地方整備局

□一 般 開 放 15:00～

【発表記者会】

岩手県政記者クラブ、釜石記者クラブ、宮古記者クラブ、大船渡記者クラブ、東北専門記者会

問 い 合 わ せ 先

国土交通省 南三陸国道事務所

〒026-0301 釜石市鶴住居町第7地割13-7 (代表)電話:0193-28-4731

副 所 長 森 日吉(内線204)

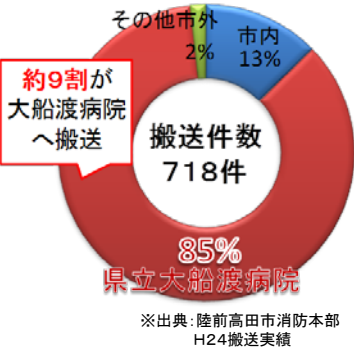
工務課長 田口 和弘(内線411)

南三陸国道事務所のホームページ <http://www.thr.mlit.go.jp/minamisanriku/index.html>

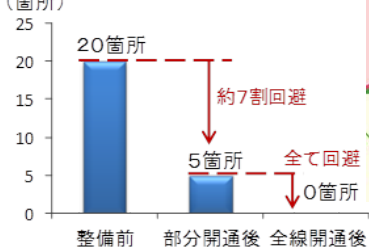
効果①：迅速かつ安定した救急搬送で安心な生活を確保

- 陸前高田市からの救急搬送の約9割が県立大船渡病院へ
- 現道の急カーブ等を回避し、迅速・安静な救急搬送が患者への負担を軽減

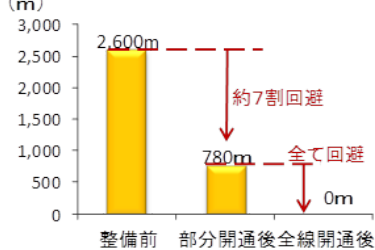
▼陸前高田市からの救急搬送先



▼急カーブ箇所数の変化



▼急勾配区間延長の変化



効果②：産業活性化で地域の活力を支援

- 三陸沿岸道路が大船渡港から大消費地の東京までより早いルートを形成
- 速達性の向上及び輸送コストの縮減により、三陸産「サンマ」の市場価値向上

▼大船渡魚市場～東京間の所要時間

所要時間が約55分短縮
(465分→410分)

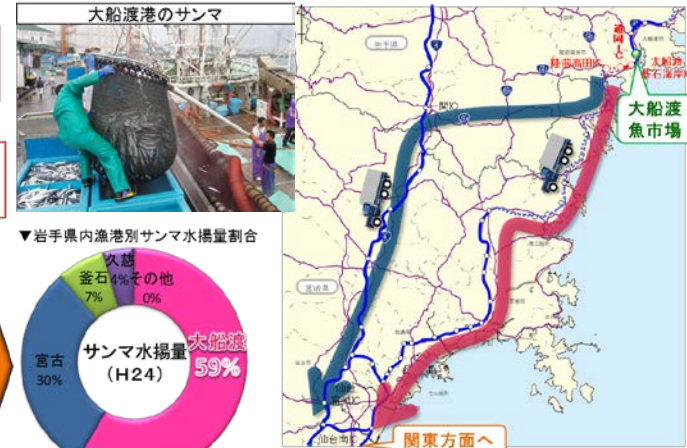
▼大船渡魚市場～東京間の走行経費

走行経費が約1,100円削減
(15,800円→14,700円)

▼産地別取扱実績(サンマ)



▼岩手県内漁港別サンマ水揚量割合



効果③：代替路の整備による信頼性を確保

- 津波浸水区間を回避し、国道45号通行止時の代替ルートを確保
- 有事にも強靱で信頼性の高いネットワークを形成



【 開通区間 】



【 開通式典案内図 】

